

週 報

こひつじ

第41巻 26号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

いま私たちは神の子どもです

その三 父に聞き、それを実行に移す

以上のように、イエスにあったのは、父との絶えざる交流であり、どこにいても、父がともにおられるという意識だった。

一家を養うための労働をしておられたときも、伝道の生涯に入られたときも、父との交わりが絶えることはなかった。

したがって、彼の生活は、以下の三つからなっていた。

- 一、父との交わり
- 二、普段の生活

三、父から聞いたことの実行
 そしてその生活を簡潔にこう述べられた。

「だが、わたしは、きょうもあすも次の日も進んで行かなければなりません」(ルカ一三の三三)

イエスの生き方とは、この一言に尽きた。

イエスは、右にも左にもそれず、朝ごとに父から聞かれたことを、実行に移された。きょうもあすも次の日も変わることなく、それを継続された。

私たちの生活もそれでよいのではないか。

だから私は何をしようかと心配しない。ただ父と交わり、父から、なすべきことを聞き、それを実行

に移す。

なんと単純な生活だろう。

振り返ると、私の人生も単調な日々の繰り返しであったように思う。

その生活はというと、朝は五時に起きて、すぐに散歩に出かける。車で五分ほどゆくと、広い田園地帯に出る。阿蘇の外輪山を見ながら農道を五〇分ほど歩く。帰ったらシャワーをする。七時からは祈り会だ。讃美歌で始まるわけだが、その選択は私に任されている。私にはなるべく古典的なものを選ぶようにしている。

そのあと内村鑑三の『一日一生』を読む。そして参加者と共に祈る。

私の前には名前の書かれた封筒が置かれている。それを見ながら順番に祈る。

それから朝食だが、その支度は長年私の仕事になっている。

朝食がすむと書斎に入り、自分の仕事を始める。

月曜日には、教会便りとともに礼拝を休まれた方たちに週報を送る。それから次週の週報や説教の準備に取りかかる。そのほか

週日にはいくつかの小集会がある。

やがて日曜日が来て、説教が終わると、先週とほぼ同じ仕事が続いている。

説教を作るのは必ずしも容易ではない。

多くのよい着想が与えられるのは朝の散歩のときだ。私にとって散歩が祈りであり、父との交わりでもある。だから散歩は欠かせない。

こんな生活を五〇年も続けている。こうして私の人生は過ぎてゆき、ほどなく終点を迎えることになるだろう。そんな人生はむなしいか。

私はそうは思わない。

むしろ、これこそが「きょうもあすも次の日も」というイエスの生き方だったのではないか。

単純だが、こういう日々の積み重ねによって人生はつくられてゆくのだと思う。

そんな私たちの生き方を見て、多くの人は問うだろう。

「教会へゆくのはなぜですか。クリスチャンになれば、毎週、礼拝に出席しなければならないのです」

か。それは義務ですか。教会はそんなに変なところですか。それとも喜びだからゆくのですか」

あるいはまた、自分の心にこんな誘惑を感じることもあるだろう。「いったいこうして教会に言い続ける意義はどこにあるのか。私は自分の生涯のすべての日曜日を教会で過ごすというのか。その時間がもったいなくはないか」と。

でも私たちは、それらの誘惑に屈しないで、イエスとともに断固たる態度で、こう言いたいと思う。「だが、わたしは、きょうもあすも次の日も進んで行かなければなりません」と。

このような日々の生活の継続にこそ、大きな人生の意味が隠されているように私には思われる。イエスの不思議な力の源泉も、そこにあつたのではないだろうか。(終)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時、第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は、岩崎宏志さん。

岩崎さんは長く熊本市役所で働

き、退職されてもう数年になりま

す。また長老のひとりとして、教会を支えてくださっています。当

教会には大津クリスチャンシング

ーズという音楽グループがありま

すが、そのボーカルも担当してい

先週の礼拝

○司会は林田実季さん。

○説教は米村牧師。ルカの四章か

ら。悪魔は、またたくまに世界の

国々をイエスに見せ、その全部をあ

たにやろう、もし私を拝むなら、と

迫つたのですが、世界の国々の栄光

も権力も、イエスを魅了することは

ありませんでした。

求めるものが違つていたのです。

私たちはどうでしょう。私たちが

先週の礼拝参加者

魅了させているものは何でしょう。それが、私たちがどんな人間であるかを決めるのではないかと語りました。

○礼拝参加者は七十七名(男二十七、女五〇)。それに子どもが一名。合わせて七八名でした。

○大津町美咲野にお住まいの高

山智子さんが、アメリカの友人たち(ジュリーさんと上地さん)と一緒に来会されました。高山さんがアメリカのアトランタに住んでいた頃、教会に導いてくださった方がたのことでした。

雨戸の設置工事

教会二階の東側の窓(二箇所)に雨戸を設置することになりました。台風のたびに内側からベニヤ板を打ち付けていましたが、最近

の台風はますます巨大化し、とくに東側からの風が強いので、今回の工事となりました。工事費は七八万円です。

消 息

○合志文利・千恵夫妻、それに次女の真理名さんはオーストラリア在住の長女誉名さんを訪問中です。約一ヶ月の滞在です。オーストラリアの大学に留学中の木下さん家族とも、ブリスベンの日本人教会で会つたそうです。

合同集会の案内

次週七月一三日(日)は合同礼拝です。午前一〇時半から。そのあとは、また第一、第二の二回礼拝に戻りますが、八月一七日(日)からは、毎週、合同礼拝(一〇時半から)となります。その日は関西聖書学院の富浦牧師家族を招いての特別礼拝となっています。